

昼食を食べながら談笑する利用者ら（神戸市東灘区で）



## 認定NPO法人「東灘地域 助け合いネットワーク」 （神戸市東灘区）

# サポート 高齢者や子供憩いの場

阪神御影駅の高架下、御影市場「旨水館」の一角に拠点を構える。阪神大震災直後の水くみや安否確認のボランティアが原点だ。現在は、2000年に始まった介護保険制度でカバーできない分野に力を注ぐ。

主な活動は、高齢者の居場所作りだ。利用者は空き店舗を改装した部屋で囲碁や将棋、英会話などを学んだり、昼食（1日25〜40食）をにぎやかに囲んだりしている。生活支援では、自宅の定期的な掃除の依頼が最も多く、入所施設での話し相手の希望も増えている。

16年秋から子育て支援にも本格的に取り組む。週1回、親子の居場所にと、育児相談を受けたり、遊びを催したりしている。発達障害児らを対象にした放課後デイサービス（1日定員10人）では、学習支援を行い、好評を博しているという。

運営費は、リサイクルショップの収益が大きな柱。小型の家具や電化製品といった引っ越しに伴う不用品、衣類やタオル、台所・掃除用品の新品などを受け付けている。

2か月に1度、地元のボランティア団体などの活動を盛り込んだ情報紙3万部を発行。村山メイ子理事長は「団体同士の絆を深め、

地域にもっと喜ばれるようになれば」と話している。

開設：1995年2月  
運営：正会員約60人、賛助会員約150人。登録している利用者は約900人。子ども（ほぼ小学生）の登録者も約240人にのぼる。利用料金は日常生活支援（1時間1200円から）、昼食代（コーヒー付き500円）など。  
問い合わせ：電話（078・843・4029）。